

ミミズを囲む砂のなぞ

人吉市立東間小学校 4年 内村 聡汰

1. きっかけ

ラジオ体操に行くときにろびきのミミズが干からびていた。よく見ると、どのミミズも周りが砂で囲まれていた。これまでも同じような様子を見たことがあったが、あまり気にしていなかった。今回目にしたときに、改めて不思議に思い、どうしてそのようになるのか調べてみたいと思った。



2. 予想

予想① アリがミミズをエサとして運ぶとき他の生き物や虫に取られないように砂で囲んでいるのではないかな。

予想② 3年生国語「ありの行列」の学習では、さとうを巣に運ぶときに砂で囲む話はなかったし、上からはまる見えなのでちがうかもしれない。そう考えると、ミミズが死んでしまいうときに体の中の土をはき出したのではないかな。

3. 調べる方法

方法① ミミズを見つけ、干からびたミミズのその後の様子を定期的に観察する。(様子を写真にとる)

方法② 他のミミズの様子も観察する。

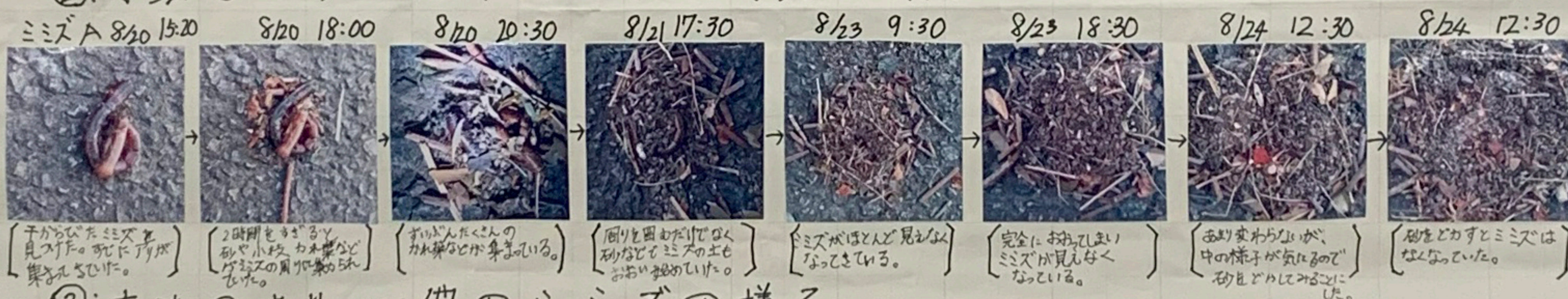
方法③ 方法①、②の後、小さいエサでも周りを砂で囲むのか疑問に思ったので、いくつかの小さなエサをおいて観察した。(ガなどの虫、さとう)

4. 結果

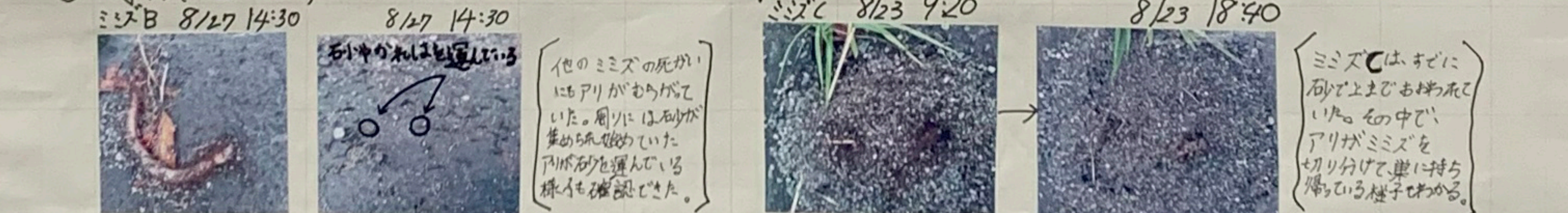
① 方法①より... 干からびたミミズを見つけに行った時、ぐぜんりんごが落ちていたのを見つけた。そのりんごの周りもミミズを囲んであったものと同じような砂で囲んであった。さらに、りんごの上にも砂がのっていた。



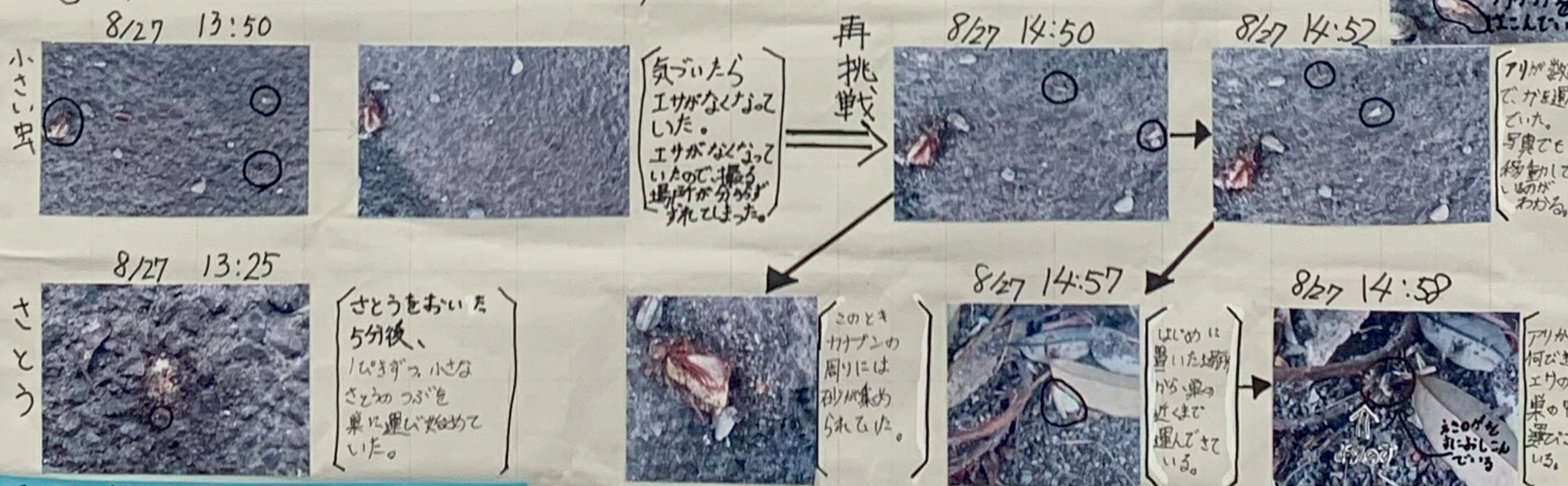
② 方法①より... 干からびたミミズの様子



③ 方法②より... 他のミミズの様子



④ 方法③より... 小さいエサ



5. わかったこと

① 結果①より、ミミズの周りを囲んでいた砂は、ミミズが出した砂ではないということがいえる。

→ (たぶんアリが運んできたのだろう。でも何のために?)

② 結果②より、干からびたミミズの周りの砂は、アリが運んできたものだということもわかった。

③ 結果②、③より、エサを運ぶまえに砂や木くずで囲むことがわかった。

また、ミミズやりんごの上にも砂がかぶせてあったことから、アリがエサをそこから見えなくしてやるために行っているのではないかと考えた。(生き物以外でも砂で包む。)

④ 結果④より、生き物でも生き物ではなくても、小さいエサは直接巣に運びこぶことがわかった。

また、カナブンの場合は周りを砂で囲み始めたことから、エサがカナブンぐらいの大きになると、砂や木くずで囲み始めることがわかった。

6. まとめ・感想

今日のぞんについて、ふだんから目にするものでもなんとなく見ていただけで詳しくは知らないことがあると感じた。しっかり観察することでぞんのかいけつにもつながると思い、気がした。

アリがエサを運ぶ方法をエサの大きさで変えていることを知っておもしろい。アリはエサの大きさをどのようにして他のアリに伝えているのか、どれぐらいの大きさから砂で囲むのかということについても調べてみたい。